

ポストコロナ 2024年の旅行 トレンド・トップ⑤



7月4日の独立記念日の週は約7,100万人が移動し、パンデミック前の合計をも上回る記録となりました。2019年の同時期と比べると、570万人も多い過去最大の渡航者数でした。

ビジネス旅行の出張量は依然としてパンデミック前の水準を大きく下回っていますが、インフレにより、出張支出の伸びが旅行の頻度(回数)を上回り、企業の出張支出は現在、パンデミック前の水準に近づいています。また、ビジネストラベルのエコシステム全体で、会議テクノロジーの普及、ハイブリッドやリモートワークの急速な増加、ワーケーションと呼ばれる混合旅行のトレンドは、新しいタイプのビジネス旅行者や新しい種類のビジネストラベルの需要を生み出しています。今回は2024年の旅行トレンド・トップ5を紹介していきます。

非接触型旅行(Contactless Travel)

米国国土安全保障省(DHS)は、セキュリティの有効性を高めながら、待ち時間を短縮し、乗客の体験を向上させることを目的とした研究開発プログラムを推進しています。DHSはスーパーマーケットのセルフレジに似たセルフスクリーニングを実験しており、今年、ラスベガスのハリー・リード国際空港で初めて一部の乗客に対して実装されました。2025年までには、TSAの“PreCheck”旅行者は靴を脱ぐどころか、セキュリティを通過するために立ち止まる必要さえなくなると発表しています。



プレミアム化



プレミアムエコノミークラスはパンデミック以降、運賃が下落したことでプレミアムキャビンの魅力をより価格に敏感なレジャー市場に拡大する影響を与えました。パンデミックによる貯蓄や賃金の上昇により、パンデミックのあいだ海外旅行ができなかった人たちの一部は、より豪華なキャビンにアップグレードすることを選択しました。レジャー旅行者の中には、長距離フライトでより快適に過ごすために追加料金を喜んで支払う人もいます。パンデミックの余波を受けた航空会社は、エコノミークラスからステップアップしたリーズナブルな運賃で快適さを約束する航空機の新しいスペースの宣伝を急ぎました。

人工知能AI

ホテルはAIを搭載したインテリジェントなチャットボットを採用して、旅行者の問い合わせに迅速かつパーソナライズされた応答を提供するようになりました。AIによって推進される顔認証技術は、空港での身元確認を迅速化し、セキュリティを強化し、従来の方法に代わるシンプルでシームレスなプロセスを開始しています。メッセージア



プリケーションの人気はしばらく前から上昇しており、Facebookには「M」、Amazonには「Alexa」、AppleはSiriに加えて「Viv」、Googleは「アシスタント」サービスを発表しました。これらは、複雑なリクエストにも対応できるほど賢く、より多くのシナリオに対応するために常に改良されています。

パンデミック後の観光

進化する旅行者の好みと衛生ガイドラインに対応して、安全でかつ柔軟な旅行オプションに焦点を当てています。定期的な消毒や非接触型サービスなど、強化された衛生と安全の規格は、航空会社やホテルで標準となり、旅行者の信頼を得ています。パンデミック後の観光は、アウトドアや混雑の少ない体験を重視しており、自然を基盤としたウェルネス旅行に対する需要の高まりに応じています。また柔軟な予約ポリシーと旅行保険による、不確実性の中での安心に関心が高まっています。



エコツーリズム

ユタ州にあるザイオン国立公園は、サステナブルな輸送手段、エコロジーを提供する国立公園です。ナローズ、エンジェルズランディング、エメラルドブルーズなど、公園の最も有名なハイキングトレイルへ通じる南北に走るザイオンキャニオンシーニックドライブは、冬季以外は公園運営のシャトルバスのみがアクセスできるようになっています。その無料シャトルシステムには現在、ゼロエミッションのシャトルバスが加わり、低GHGガス排出のプロパン燃料バスと電気バスを組み合わせることで動力を供給しています。ザイオンキャニオンシーニックドライブには9つのバス停留所があり、そのひとつザイオンロッジは100%風力で発電し、節水配管を備え、ミツバチ、鳥、コウモリを保護するための花粉媒介者保護区を作り、庭で独自のハーブを栽培しています。ロッジには充電ステーションの設備があり、電気自動車でロードトリップをしている旅行者にも対応しています。



([近鉄インターナショナル](#) 根本真樹子)

